

碧南市特別支援教育推進活動委員会だより

# ささえあい

第70号

☎ 学校教育課 ☎95-9918



碧南市特別支援教育推進委員会では、児童・生徒が将来自立できるよう援助する活動を計画し、推進しています。また、市民のみなさんに特別支援教育を一層理解していただけるよう「ささえあい」を発行しています。今号は、特別支援学級の活動や昨年度、中学校を卒業した生徒の進路先などを紹介します。

## タブレットで夏野菜観察日記 新川小学校



「あっ！ちっちゃいピーマン！」「見て！花が咲いた！」畑や植木鉢で育てているミニトマト・ナス・ピーマンなどの夏野菜を見て、子どもたちは、いろんな発見をします。今年は、導入されたばかりのタブレットを使って、夏野菜の観察記録を作ってみました。落とさないように気をつけてタブレットを持ち、夏野菜の写真をパシャリ！と撮影。「何色だったかな？」「いくつできていたかな？」先生と一緒に考えながら、発見したことをソフトキーボードで入力していきます。「5がつ27にち ちいさいひいまんができてうれしい。」(2年児童)「6月3日ナスの花がさいた。むらさきいろ。」(3年児童)「6月28日トマトが13こできた。きいろとみどり。」(5年児童) みんな素敵な観察日記ができました。

## 中学卒業後の進路

【市内中学校特別支援学級生徒の進路】

		R2年度	R1年度	H30年度	H29年度	H28年度	H27年度	H26年度	H25年度
特別支援学校	安城特別支援学校	2	4	2	7	3	5	3	3
	大府もちのき特別支援学校 桃花校舎	4	3	1	2	2	2		
	豊田高等特別支援学校	1			1	2	1	3	4
	ひいらぎ特別支援学校		1			1			
職業訓練校							2	1	
公立高校			1		1		1		
専修学校		4	3	3	1	2	3		
各種学校		1		3					1
家事従事			1	1			2		1

過去8年間、碧南市内の特別支援学級を卒業した生徒の進路は上の表のとおりです。生徒、保護者、教員で話し合いを重ね、進路先を決めていきます。最近では、調理系・情報系・福祉系などの専修学校を選択する生徒も増えてきました。令和4年度より、西尾市に知的障害又は肢体不自由のある児童生徒を対象とした特別支援学校が開校します。現在、安城特別支援学校と、ひいらぎ特別支援学校に通学している児童生徒は、そちらに移ることになります。お子さんが将来自立した生活を送るためによりよい進路選択ができるよう、お子さんの可能性に目を向け、小学校などの早い時期から家庭や学校で話し合っておくことが大切です。

## 教員研修会

### ライフステージを見据えた支援 ～将来のために身に付けておくべきこと～



講師：碧南市社会福祉協議会 小島 誠司 様

日時：令和3年8月6日(金) 午前9時～

場所：碧南市立棚尾小学校

碧南市教育研修会特別支援部会では、毎年、市内の特別支援学級の教職員が中心になって特別支援教育の理解を深めるための研修会を行っています。

今年度の講師の小島様は、碧南市社会福祉協議会の相談支援専門員として障害者の就労支援を担当されています。小島様から「大人になって幸せに暮らすために子どものころから身に付けておくことよいこと」についてお話をしていただきました。自立した生活を送るために働いてお金を儲けることは大事なことだが、働き続けるためには、「人との出会い」が重要であることを学びました。

また、支援者として大切なことは、子どもたちの抱える問題や課題について、子どもを支える家族と一緒に考えていこうという姿勢が必要であるということも分かりました。今回、小島様に教えていただいたことを、これからの子どもたちの支援に役立てていきたいと思えます。

## 成長期こそ、規則正しい生活リズムを身につけましょう

### ～生活習慣病若年化対策事業より～

碧南市では、昭和63年度から、市内の全ての小学4年生と中学1年生を対象に「生活習慣病若年化対策事業」を実施してきました。平成20年度からは、小児のメタボリック症候群の保健指導の基準をつくり、学校と協力して生活習慣の見直しをしています。

身体測定や血圧測定・血液検査などの健診結果と生活習慣に関するアンケートを分析した結果、小学4年時と中学1年時ともに健康であるグループには、「規則正しい食事、ゆっくり食べる、よく噛んで食べる、朝食は家族と食べる」習慣のある子が多いことがわかりました。

また、「テレビ・DVDの休日の視聴時間」と「パソコン・タブレットの平日の使用時間」については、小学4年時・中学1年時のどちらも、健康であるグループの方が短いことがわかりました。

これらのことから、規則正しい生活習慣は、乳幼児期だけでなく、成長過程にある小中学生にも重要であることが確認でき、小中学生の健康づくり・生活習慣病等の予防の視点から、早寝早起き、1日3食を食べることやテレビやパソコンなどの視聴時間への配慮が大切であることがわかりました。皆様のご家庭はいかがでしょう。一度親子で振り返っていただけるとよいと思えます。



健康課母子保健係